

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成27年7月31日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市中京区壬生東高田町1-2		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 地方独立行政法人 京都市立病院機構 理事長 森本 泰介 電話番号 075-311-5311
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	独自のシステム(中期計画)	
適 用 範 囲	京都市立病院、京都市立京北病院	
導 入 年 月 日	2013年4月1日	
認 証 番 号		
基 本 方 針	地球環境への配慮及び廃棄物の減量、省資源・省エネルギーの推進	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	平成26年度目標 ・単位床面積当たりの温室効果ガス排出量[CO2換算kg/m <sup>2</sup> ] 145.2 ・単位床面積当たりの事業系一般廃棄物排出量[kg/m <sup>2</sup> ] 10.48 ・単位床面積当たりのエネルギー消費量[MJ/m <sup>2</sup> ] 3,232	
目標を達成するための取組の内容	①温室効果ガスの排出抑制 環境負荷の少ない機器の導入、各種機器の効率的な使用、公共交通機関の積極利用に取り組む。 ②廃棄物の減量 分別の徹底、リサイクルの推進による減量に取り組む。 ③省資源・省エネルギーの推進 高効率機器の導入、自然エネルギーの積極利用、機器の効率的な運転管理の実施等により資源・エネルギー消費量の削減に取り組む。	
目標を達成するための取組の進捗状況	待合室の照明120台分について、蛍光灯からLEDに変更するなど、高効率機器の導入などに努めた。 また、ごみの分別については、プラスチック製品の適正な分別を徹底して、事業系一般廃棄物への混入を削減したほか、廃棄物の排出量削減のために医薬品医療物品の梱包等について再生紙リサイクル化に取り組んでいる。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	平成26年度は、単位床面積当たりの事業系一般廃棄物排出量[kg/m <sup>2</sup> ]、エネルギー消費量[MJ/m <sup>2</sup> ]については、それぞれ6.05、3、106と目標を達成できたが、温室効果ガス排出量[CO2換算kg/m <sup>2</sup> ]は162.1と目標を達成できなかった。 温室効果ガスについては、エネルギー使用量では目標値を達成したものの、温暖化排出係数の上昇をうけて、温室効果ガス削減目標には達しなかった。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	遵守している。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては ・毎事業年度ごとに策定する年度計画において調整、修正を行う。 ・院内に設置された施設管理委員会や感染防止委員会において必要に応じ調整、修正を行う。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。